

今度こそ!



北海道自治研



一方、政府の機能が停滞しているなかで、地方自治体の役割は大きく、とりわけセーフティネットの拡充、確立が急務となっております。

50年に及ぶ自治研の歴史のなかで、北海道自治研は開催延期という事態となりました。全国の仲間のみなさんには大変ご迷惑をお掛けしました。心からお詫び申し上げます。
解散総選挙に踏みきれなかった麻生政権はさらに混迷を深め、先行き不透明な政治状況が続いています。グローバルスタンダードなる市場原理主義は破綻し、世界同時金融危機が私たちの生活に重くのしかかり、スピード感もないばかりかすべての判断を先送りしている麻生首相は、不況、雇用不安、定額給付金問題等をかかえ、国会は解散総選挙がいつあってもおかしくない状況となっております。

私たちはあらためてこの北海道自治研のなかで、自治体の仕事、公共サービスのあり方について考え、提言し、改革していくことが求められています。
北海道自治研開催の季節は、秋から春に変わりました。
4月の自治研全国集会には、政権交代が実現し、新しい総務大臣、否、新しい総理大臣が参加するかも知れません。北海道実行委員会は、でっかい夢をいだきながら、モチベーションをさらに高く持ち、「2回目の準備」に取り組んでいます。
年度始めの忙しい時期の開催ですが、多くのみなさんのご来道をお待ちしています。

今度は延期も中止もありません
必ず開催します、北海道自治研!

* 4月開催の北海道自治研は、仮に解散総選挙の日程と重なった場合でも実施することを自治労、自治研中央推進委員会、北海道実行委員会で確認しています。必ず開催いたします。ぜひご参加ください。

マイ箸 & マイバッグ
ご持参下さい

北海道自治研はECO自治研



あたらめて
お申込下さい

■2008年10月開催用に申し込みいただいたものは、すべてキャンセル(無効)になっています。特別分科会(夕張)を含め再度お申し込みください。▶ **申し込み締切日/2月20日(金)**

自治研50周年記念 第32回 自治研全国集会

2009.4.16(木)~18(土) 札幌市/夕張市

全体集会は札幌市民ホール

【旧 札幌市民会館】

◎昨年10月、延期をした直後にお知らせした全体集会の会場は「真駒内アイスアリーナ」でしたが、現地下見をしたところ暖房設備がなく(4月の札幌は雪が残っている可能性もあり)、また経費の点からも、リニューアル工事が終わった札幌市民ホールでの開催としました。(札幌市民ホールは、札幌市役所&テレビ塔の隣りです)

全体集会・分科会の会場が変わります



全体集会会場

札幌市民ホール 札幌市中央区北1条西1丁目

🚶 アクセス▶地下鉄「大通り駅」下車徒歩5分(31番出口の前)
JR札幌駅より徒歩15分

第Ⅰ統合分科会 ▶京王プラザホテル

「地域の公共の力を探求する」

第Ⅱ統合分科会 ▶共済ホール

「市民とつくる社会保障システム」

第Ⅲ統合分科会 ▶札幌グランドホテル

「地域社会の維持・発展をめざして」

第Ⅳ統合分科会 ▶北海道自治労会館

「人権・平和・共生のまちづくり」

第Ⅴ統合分科会 ▶札幌全日空ホテル

「環境と調和する地域」

特別分科会 ▶ゆうばりホテルシュエパロ

「夕張からわがまちの財政を考える」

オプションツアー

▶オプションツアーはなくなりました。

案内所

▶4月15日、16日は、新千歳空港国内線ターミナル・JAL、ANAそれぞれの到着ロビーに北海道実行委員会の係員がいます。会場や宿泊先への交通アクセスについてご案内します。

めざまし!
テンポよく、
バラエティーに富んだ



自 治研の本来の目的を追求するため、全体集会では参加者からの討論時間を設けるよう心がけています。そのために、あいさつやセレモニーは極力コンパクトにし、また参加者が楽しめるアトラクションや自治研の50年を振り返る映像も用意しています。

全体集会のタイムテーブル

9:15 開場 (受付開始)

10:00 開会

オープニングアトラクション「YOSAKOIソーラン」
主催者あいさつ/ビデオメッセージ

10:30 **■地元記念講演**

「<旭山動物園>革命と出会い」
小菅正夫 旭山動物園園長 [質疑](#)



12:00 昼食休憩

13:00 アトラクション「江差追分：香澄」

■特別講演
「転換期の苦しさとローカルの可能性」
内山 節 (哲学者) [質疑](#)

14:30 休憩

14:45 アトラクション アイヌ民族舞踊
映像「自治研 50年」・基調報告

■全体討論
「『構造改革』vs『地域の公共の力』。何が出来るか？」
[会場参加者からの発言](#)

17:00 閉会

地元記念講演

仕事の
ヒントが
そこにある!!



旭山動物園園長
小菅 正夫
「<旭山動物園>革命と出会い」

「奇跡の動物園」と称される旭山動物園。廃園の危機からはい上がったプロセスは、NHK「プロジェクトX」にも取り上げられ、この2月には映画になって全国ロードショーされます。旭川市が運営するこの旭山動物園は、自治労の組合でもあります。

「予算は少なくとも工夫次第」「大切なのは、不遇のときの準備」と、小菅園長は言います。多忙な小菅園長に再び日程を調整していただき、地元記念講演を行っていただきます。全国から参加したみなさんに、北の大地から勇気と元気を発信したいと思います。

◎旭山動物園の冬の開園期間は4/7まで、夏の開園は4/26からとなります。残念ながら自治研開催時は閉園期間となっています。ごめんなさい。

